

NEW
ILLUSTRATED ENCYCLOPEDIA
OF
THE FAUNA OF JAPAN

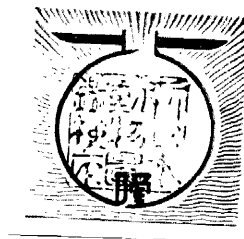
HOKURYU-KAN PUBLISHING CO., LTD.
No.12, 2-chome, Iidabashi, Chiyoda-ku
Tokyo, Japan

新日本動物図鑑〔中〕

¥ 8, 000

昭和40年12月10日 初版印刷

昭和48年1月31日 四版発行



4803

頒布
番号

著 者 岡 田 要
代 表 内 田 清 之 助
内 田 亨
発 行 者 福 田 喜 三 郎
発 行 所 株 式 会 社 北 隆 館

〒102 東京都千代田区飯田橋2-12-7
電話 03 (264)4521~4 振替東京 750

分類コード	3 6 4 5
製品コード	0 1 0 3 0
出版社コード	7 7 3 3

印刷所 株式会社 金 羊 社
製本所 中島製本株式会社

1036. すなもぐり

Callianassa petalura STIMPSON

体長48mm, 甲長11.5mm, 甲幅7.5mm. 甲背はやや肥大, 腹部は扁平. タラシナ線は明らか. 甲背正中線上における頸溝と甲尻(甲後縁)との距離は甲長の $\frac{1}{4}$ の長さ. 額角を欠く. 眼柄は扁平で左右たがいに平行. 第3顎脚の座節と長節とはよく発達し楕円形をなす. 第1脚は左右不同の鋏脚. 長節の下縁基部に1巨歯が突起する. 腕節の後縁は丸く, 上下縁は一直線をなし, それらは掌節に連続してたがいに平行する. 第1, 第2腹肢は細く柔らかく, 第3~第5腹肢は葉状をなすが, 雄のみ第2腹肢を欠く. 尾節後縁は丸みあり, 中央に1棘が発達. えらは関節えらのみ10対. 産卵期になると深紅色の卵巣卵が白色半透明の体表を透して観察され, 次種と容易に区別できる. 外洋性のいそ, 砂地に埋没して生活. 抱卵期4~6月. [三宅]

9月

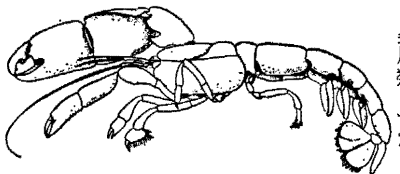


〔十脚目 異尾類 すなもぐり科〕

1037. にほんすなもぐり

Callianassa japonica ORTMANN

体長57mm, 甲長14mm, 甲幅5mm, 前種より大形. 頸溝は前種よりやや前方に位置し, 頸溝と甲尻との距離は甲長の $\frac{1}{4}$ の長さ. 第1脚は左右不同の鋏脚. 長節の下縁基部の1巨歯は鈍端に終る. 腕節の上縁は内側に強く湾曲し, その上縁は掌節の上縁とは一直線をなさぬ. 腕節, 掌節の長さの大小は前種同様に一定しない. 指節の咬合面に2巨歯があるものと巨歯がなくて微齒列生するなど多くの変異がある. 前種同様に第2脚は鋏脚. 第3脚の前節は幅広く楕円形をなす. 第4脚は爪状. 第5脚を擬鋏をなす. 尾節後縁はほぼ一直線をなし, 前種と同じく1棘がある. 生時体は白色半透明, 卵巣卵はかば色. 内湾性の干潮線の砂地に穴居する. 本種はアナジャコと同じ生息地, 分布. 抱卵期4~6月. *C. harmandi* Bouvier は本種のシノニム. [三宅]

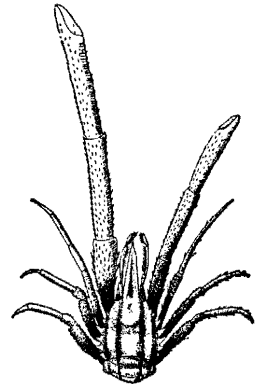


〔十脚目 異尾類 すなもぐり科〕

1038. たてじまわらえび

Uroptychus grandirostris YOKOYA

甲長6.0mm, 甲幅7.3mm, 額角5.5mm, 第1脚の長さ36mm. 甲背には顆粒, 短毛が密布する. 甲側縁は前方に狭くなり, 約6個の鋭齒が水平に突出するほかに前側縁になお2, 3棘がある. 第1脚は長く左右ほぼ同長であるが, 不同の場合大脚は甲長の5~6倍もあり, 表面に鋭棘が密布する. 長節に3条の棘列, 指節咬合面の基部に1歯がある. 第2~4脚の前節前縁に数棘がある. 生時は淡紅色の地に甲背に4条, 腹甲に2条, 側甲に1条の赤褐色のたて縞がある. なお第1脚には赤褐色の斑紋があって濃淡の両部分が交互にならぶ. 大王崎・潮岬・田辺湾・室戸岬・佐多岬・長崎・五島沖に分布. 水深165~223m. 抱卵期2月および7月. 卵径0.7~1.2mm, 15~56個を抱卵. [三宅]

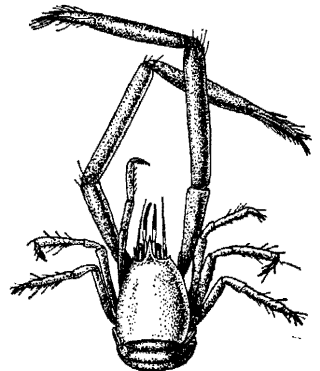


〔十脚目 異尾類 わらえび科〕

1039. てながわらえび

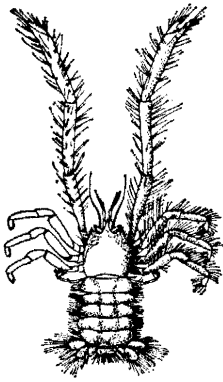
Uroptychus indicus ALCOCK

甲長13mm, 甲幅13mm, 額角6mm, 第1脚の長さ73mm, 甲背は平滑で光沢があり, 側縁に棘がない. 眼窩後縁には短棘2個が突出し, 第3顎脚の長節に棘がない. 第1脚は長く甲長の5, 6倍. 長節は短く腕節のほぼ $\frac{1}{2}$, 掌節は指節の2倍に近い長さ, 指節の先端に近く絹糸状の長毛が密生し, 指節の内縁(咬合面)の基部に幅広い1歯がある. 第2~4脚は第1脚の約 $\frac{1}{4}$, 指節・前節の先端に近く絹糸状の長毛が密生し, 前節の後縁に5~7小棘, 指節の後縁に9~10個の小棘がある. 相模湾~宮崎県沖の太平洋沿岸に分布. 水深291~600m, まれに91~154mの浅所にも生息. なおセイロン・ベンガル湾・アラビヤ海・チモール・ケイ・セレベス海域に分布, 水深560~1513m. 本邦近海産の抱卵期8月上旬. [三宅]



〔十脚目 異尾類 わらえび科〕

〔十脚目 異尾類 わらえび科〕

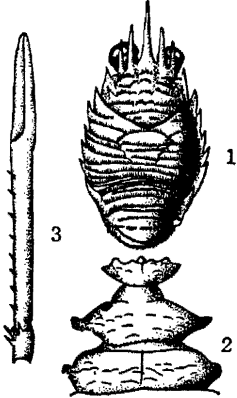


1040. とげわらえび

Uroptychus scandens BENEDICT

雄甲長5.5mm, 甲幅6.5mm, 第1脚の長さ30mm, 抱卵雌甲長3.5mm, 甲幅4.0mm, 第1脚の長さ22mm, 甲背は扁平平滑であるが前側部には多数の棘毛が密生する。第1脚は細長く雌雄ともに甲長の5, 6倍あり, 側縁に絹糸状の長毛を着生し, 雄の指節(可動指)には内縁基部に1歯があり, 咬合面に間隙があるが, 雌の指節不動指の内縁は無歯, その咬合面に間隙がない。第2~4脚には第1脚と同じ絹糸状の長毛が密生する。腹部は平滑, 側縁, 後縁に長毛が列生する。生時はいちようの淡紅色を呈し, つねにウミエラ *Leiopterus fimbriatus* に共生。小湊沖・相模湾・大王崎沖・土佐湾・豊後水道・東シナ海(農林漁区 No. 248), Kei 諸島に分布。水深110~393m。抱卵期4~7月。卵径0.7~1mm, 11~18個を抱卵する。〔三宅〕

〔十脚目 異尾類 わらえび科〕



1041. つのわらえび

Eumunida dofleini GORDON

甲長30mm, 第1脚135mm。甲背は左右に湾曲し, 多数の横条がある。額角は甲長よりも長く, その両側によく発達した2個の眼上棘が突出し, これにつづいて前鰓域に3個の短棘がある。甲側縁には6棘が着生。第3顎脚の長節内縁に棘がない。第1脚は細長く甲長の4.5倍。座節の先端内側に1棘, 長節に4条の棘列, 腕節の背側に2条の棘列のほか先端に近く3棘があり, 掌節は指節よりも長く2条の棘がある。第2脚の前節の前縁先端に1棘があるが, 第3, 第4脚にはない。腹甲第2節(第1脚の着生する節, 第2図参照)の前側縁に棘がない。相模湾・五島沖に産し, 水深137~600m。近似値 *E. balssi* Gordon は第3顎脚長節内縁の中央と外縁先端に各1棘がある。相模湾・下田沖, 水深90m。〔三宅〕

〔十脚目 異尾類 こしおりえび科〕

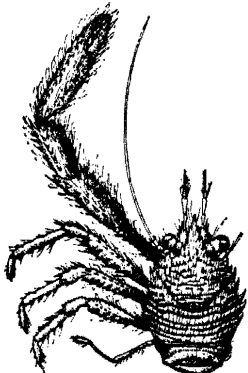


1042. とうようとしおりえび

Galathea orientalis STIMPSON

甲長4mm, 甲幅2mm, 額角2mm。甲背には約10条の横条がある。胃域前縁に1対の棘があるのみ。額角は甲長の1/4, 側縁に3歯がある。眼上歯は前記3歯よりも小さい。甲側縁に7棘を数え, うち第2棘は小さい。第3顎脚の腕節の外縁に3棘, 長節の内縁に2鋭歯, 外縁に2棘がある。第1脚は頑丈で, 表面は棘毛におおわれ, 側縁には大棘が列生する。指部の咬合面には1, 2歯が発達し, 両者間の間隙は個体により多少変異があり, 雄には雌より大きな間隙がある。第2~4脚の長節の前縁に9~11棘, 腕節の上縁, 前節の上縁基部に数棘が発達する。生時は灰色~淡緑褐色を呈し, しばしば正中に白色の縞を生ずる。抱卵期は6~8月および12~3月。函館・富山湾以南九州・東シナ海・小笠原・ホンコンに分布。干潮線~200m。〔三宅〕

〔十脚目 異尾類 こしおりえび科〕



1043. けぶかとしおりえび

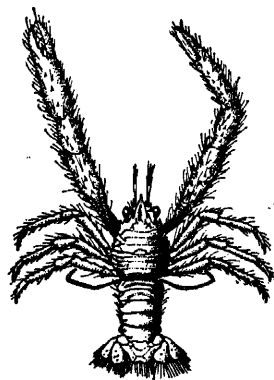
Galathea pubescens STIMPSON

甲長7.5mm, 甲幅7mm, 額角4mm, 第1脚の長さ39mm。甲背には前種よりも多数の横条があり, その前縁に長短毛が密生する。甲背胃域に6~10対, 前鰓域に6~12対の棘のほか数対の小棘が発達する。額角は細長く, 側縁に3鋭歯, その基部に1個の眼上棘がある。甲側縁には8棘のほか眼窩後縁に小棘2, 3個が着生する。第1触角の基節に2棘, 第3顎脚の長節の内縁に3歯, 外縁に2棘がある。第1脚は長く円柱状, 表面に散在する棘は前種よりも多く, 指部は掌節よりも短い。第2~4脚は長毛密生し, 長節の前縁に7, 8棘ある。生時は淡褐~淡紅色にやや濃い色の斑点が棘, 横条, 第2~4脚の前節の先端部に散在し, とくに正中に白色のたて縞をつくる個体がある。函館・浦賀水道以南奄美大島に産し, 水深40~234m。〔三宅〕

1044. とげなしとしおりえび

Galathea pusilla HENDERSON

甲長(額角を含む) 7.5mm。額角は甲長の約 $\frac{1}{4}$ 、側縁に棘なく、先端から約 $\frac{1}{4}$ の所に微棘1対が着生する。甲背胃域に4棘が発達。第1触角の基節に5棘。第3顎脚の長節の内縁と外縁とに各1個の強棘がある。第1脚は甲長の2.5倍よりも短く、長毛が着生する。長節には棘が列生し、内縁の棘列が最大。腕節に3条の棘列が走り、内縁に顕著な長棘が突出する。掌節にはほぼ4条の棘列を数え、他の節の棘よりも大形。指節に1歯、不動指に2歯がある。第2~4脚には長毛が粗生し、長節・腕節の前縁、前節・指節の後縁に棘列を具え、ことに腕節先端の棘は最大。生時の色彩、胃域は淡青色、その他は一律な淡赤色を呈するが、第1脚、前鰓域はやや濃色。津軽海峡~種子島の日本海・太平洋両沿岸・東シナ海・オーストラリア(N. S. W.)に分布。水深20~307mm。〔三宅〕

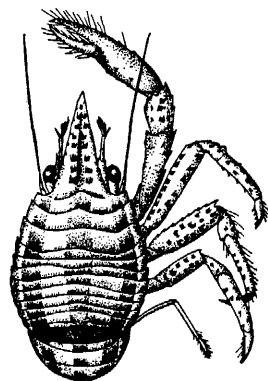


〔十脚目 異尾類 こしおりえび科〕

1045. こまちとしおりえび

Galathea elegans ADAMS et WHITE

甲長(額角を含む) 12mm。額角はほぼ甲長の $\frac{1}{4}$ 、側縁に5~9の小歯を具え、すこし下方に傾く。甲側縁に8~9歯が着生する。額角、甲背には横条が隆起し、その前縁に本種固有の短毛が密生する。第1触角の基節に3歯、第3顎脚長節の外縁に2、3棘、内縁に2~4棘が発達する。脚は一律に棘毛を具える。第1脚は細長く、やや扁平、甲長の1.5倍よりも長い。第2~4脚の長節前縁に11~14棘、腕節の前縁に7、8棘を生ずる。つねにコマチ *Comanthus* 類に付着共生し、多くの場合一宿主に雌雄1対が共生する。生時は宿主コマチと同色の暗紫色と淡黄茶色とのたてじま模様を呈する。その斑紋は個体により、また地域によってかなりの変異がある。相模湾以南の暖流海域に生息し、広く太平洋に分布する。水深干潮線~120m。〔三宅〕

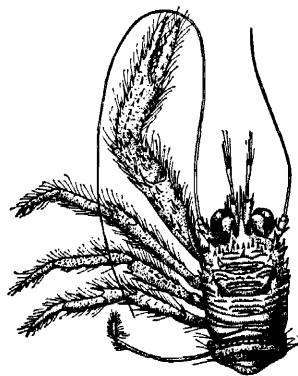


〔十脚目 異尾類 こしおりえび科〕

1046. ちゅうとしおりえび

Munida japonica STIMPSON

甲長10mm、甲幅8mm、額長4mm、第1脚の長さ雄40mm、雌28mm。額角は第1触角柄の末端に達し、眼上棘は眼の中ほどに届く、甲側縁に7、8棘、甲背胃域の前縁に左右6、7対の小棘が1列にならび、胃域の正中に1個とその両側に各1棘がある。なお前側縁に1棘がある。第3顎脚の長節の内縁に3鋭歯がある。第1脚は多くの棘毛におおわれ、第2~4脚には長毛と長棘が着生。長節の上縁に7、8棘、下縁に3棘、腕節の上縁に3棘、前節の下縁に10~11棘、指節の下縁に7、8小棘が列生する。抱卵期6、7月および10月。生時は淡黄褐色~淡赤褐色の地に第1脚の掌節前半部および甲背の横条が濃色を呈する。津軽海峡~台湾の日本海・太平洋両沿岸・小笠原・セイロン・紅海に分布。水深30~500m。〔三宅〕

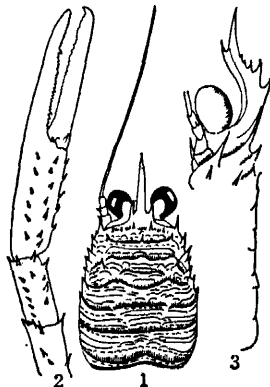


〔十脚目 異尾類 こしおりえび科〕

1047. おおとしおりえび

Cervimuida princeps BENEDICT

雄の甲長40mm、額角を含めると59mm、甲幅35mm、第1脚200mm、抱卵雌の甲長28mm、甲幅25mm、第1脚の長さ57mm。額角は背面からは単一の長棘を呈するが、下方につよく湾曲し、背側中央に2個の大棘とその前方に2、3小棘、腹側には先端に近く大棘1個がある。眼上棘は斜上方に突出し、眼窩後にほぼ同大の1棘がある。甲背には短毛の密生する横条があり、前半部、前側縁に棘歯が着生。胃域の前縁に7~9棘、前鰓域には頸溝に近く2棘、甲の側縁に5、6棘がある。脚は扁平で短毛短棘が密生する。第1脚は雄は雌より長く甲長の5倍、雌は短く約2倍。生時一様の帯紅黄褐色。金華山・山形沖~九州に分布。水深76~450m。抱卵期11~12月。〔三宅〕



〔十脚目 異尾類 こしおりえび科〕